

『子どもとたのしむ絵本の時間 小学3、4年生と一緒に読みたい本』
 県下読書ボランティアをされている方々からの推薦図書

【主人公が生き物・動物の本】 ※五十音順(書名)

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
あま〜いしろくま	柴田 ケイコ／作・絵	夏	美味しそうなお菓子が沢山出てきて、幸せな気持ちになります。しろくまがお菓子の中に入ったりして、しろくまの動きも楽しくて可愛いのでおすすめします。
これはのみのぴこ	谷川 俊太郎／作 和田 誠／絵	いつでも	繰り返しの部分を何回も聞いているうちに、子どもたちは思わず声に出してみたくなるようです。最後にはいったいどうなるのかも、想像してもらって楽しい絵本だと思います。子どもたちには、いい言葉や表現を何回も繰り返し読んで覚えて、いつまでも心と脳裏に記憶して欲しいと思います。
3びきのかわいいオオカミ	ユージーン・トリビザス ／文 ヘレン・オクセンバリー ／絵	いつでも	3匹のこぶたよりもさらに上をいくお話で子ども達が夢中でできてくれました。
チビねずくのながーいよる	ダイアナ・ヘンドリー／ 作 ジェーン・チャップマン ／絵 くぼしまりお／訳	秋・冬	チビねずくとオオねずくのかわいいやり取りがおもしろいです。夜にいろいろな音が気になって眠れないチビねずくに対するオオねずくのやさしさにあふれた物語が素敵です。
てぶくろを買いに	新美 南吉／作	冬	心温まるお話に子どもたちが釘付けになっていました。
とべバッタ	田島 征三／作	秋	絵の迫力とがんばるバッタの心情が子どもたちに訴えるものがあります。
どんぐりと山猫	宮沢 賢治／作	いつでも	意表をついたストーリーで、聞く側の人間を飽きさせません。
にじいろのさかな	マーカス・フィスター／ 作 谷川 俊太郎／訳	いつでも	人それぞれ個性があるから素晴らしいんだよ、ということが伝えられます。
ねこです。	北村 裕花／作	いつでも	言葉のリズムが心地よく、絵も迫力があって、子どもの視線が本に釘付けになる本です。
ねずみのとうさんアナートル	イブ・タイタス／文 ポール・ガルドン／絵 晴海 耕平／訳	いつでも	ねずみのとうさんの誠実さと、家族や友人の彼への信頼の気持ちがすてきです。なんともすがすがしい読後感があります。
ぼくは、チューズデー 介助犬チューズデーのいちにち	ルイス・カルロス・モン タルバン／文 ブレット・ウィッター／ 共著 ダン・ディオ／写真 おびか ゆうこ／訳	いつでも	写真が多く、補助犬についての理解や興味が深まります。

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
まけうさぎ	斎藤 隆介／さく まつやま ふみお／絵	いつでも	月のうさぎ、うさぎとかめのお話にも触れて月のこと、うさぎのことの想像が膨らみます。
もう あかん！	岡田 よしたか／作	いつでも	みんな、大好き！？うんちの本です。ある一匹のイヌがうんちを最適な場所ですのために探しあきます。最後のオチがおもしろいです。
ヤクーバとライオン Ⅰ 勇気 Ⅱ 信頼	ティエリー・デデュー／ 作 柳田 邦男／訳	いつでも	白黒でシンプルだけど迫力ある絵でわかりやすいと思いました。内容も子ども各々で深い心の内を思い巡らせてくれるものだと思います。シリーズを続けて読んだのも良かった気がします。
わすれられないおくりもの	スーザン・パーレイ／ さくえ 小川 仁央／やく	いつでも	心が温まるとてもよいお話です。子どもたちにぜひ知ってもらいたいです。

【主人公が人の本】 ※五十音順(書名)

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
ありがとう、フォルカーせんせい	パトリシア・ポラッコ／ 作・絵 香咲 弥須子／訳	いつでも	学習への発達障害を持った筆者の子ども時代のお話です。すばらしい先生に巡り合えた筆者の、たくさんの方の努力を一人でも多くの子どもたち、先生や大人たちに知ってほしくて読んでいます。
いいから いいから	長谷川 義史／作	いつでも	「いいから いいから」という言葉が繰り返してきて、面白いです。わかりやすく、印象に残りやすいです。
いのちは見えるよ	及川 和男／作 長野 ヒデ子／絵	いつでも	目が見えない夫婦と近所のエリちゃんが仲良くして、出産にも立ち会ったり、子育ても近くで毎日見守っていたり、とても心ふるわせられる絵本です。高学年のクラスでよく読みます。
ええところ	くすのきしげのり／作 ふるしょう ようこ／絵	いつでも	自分や友達のいいところを見つめなおすことができ、心が元気になる絵本です。
おかあちゃんがつくつたる	長谷川 義史／作	いつでも	長谷川義文さんの絵と関西弁・温かいストーリーが大好きです。笑えて、泣けて、心がほっこりする1冊。おかあちゃんのたくましさとかわが子を思う愛情の深さ、家族愛、親子愛など心に響きます。
おへそのあな	長谷川 義史／作	いつでも	ゲームをする子どもが増えてくる年代で、赤ちゃんやお産など、命を大事に思うきっかけの一つになるあったかいお話です。
かいぞくポケット シリーズ なぞのたからもの など	寺村 輝夫／作 永井 郁子／絵	いつでも	冒険もののお話で、シリーズであるため、どんどん自分で読み進めていくことができます。

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
かみさまのめがね	市川 真由美／文 つちだ のぶこ／絵	秋	10月は神無月ですが、全国の神様が集まる出雲の国では神在月と言われます。そこへやってきたのはめがねやさん。めがねでかみさまたちのお悩みを解決していきます。ユーモラスな絵、奇想天外なめがね、掛け合いのリズム、ラストのオチ、魅力たっぷりの人気の絵本です。
賢者のおくりもの	オー・ヘンリー／文 リスベート・ツヴェルガー／画 矢川 澄子／訳	冬	お互いを思いやる優しい気持ちが伝わるので、おすすめします。
皇帝にもらった花のたね	デミ／作・絵 武本 佳奈絵／訳	その他	「正直であること」について考えることができる物語です。
ストライプ たいへん！しまもよになっちゃった	デヴィッド・シャノン／文と絵 清水 奈緒子／訳	いつでも	表紙のインパクトや絵の雰囲気。また、「自分は自分でいいんだ！」と思える内容が中学年あたりからしっかり伝わると思います。
たいせつなきみ	マックス・ルケード／著 セルジオ・マルティネス／絵 ホーバード・豊子／訳	いつでも	人はひとりひとり違って、そのひとりひとりが大切な存在である、というメッセージが込められています。
はいチーズ	長谷川 義史／作	いつでも	話の展開が想定外なので、おもしろいです。
花さき山	斎藤 隆介／作 滝平 二郎／絵	春	昔の話ですが、3、4年生の心に残るものがあったようです。好評でした。
半日村	斎藤 隆介／作 滝平 二郎／絵	その他	聞き手の子どもと同じ年代の少年が主人公で、小さな子どものアイデアと行動力が、村全体に影響を及ぼすほどの大きな結果を残す、というストーリーに、子どもたちも引き込まれているようでした。
ぶす	内田 麟太郎／文 長谷川 義史／絵	いつでも	読み聞かせボランティアの方が、学級に読み聞かせをしてくださった時に、選んでくれた1冊です。内容が面白く、子どもたちが夢中になって、絵本の世界に入り込んでいました。
ふまんがあります	ヨシタケ シンスケ／作・絵	いつでも	小学校3年生4年生と言えば自我が確立し、社会性もしっかりしてきた中、色んな大人に出会ってやっと「アレ？」って思い始める頃です。この本を読むとすごく共感されたり、自分が普段思っている不満を話してくれたりしてとても盛り上がります。客観的に物事を見て、おかしいと思うことを素直に「おかしいんじゃない？」と言える人に育ってほしいです。

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
ふゆごもりのまえに	ジャン・ブレット／作 こうのす ゆきこ／訳	冬	挿し絵がとてもきれいで、見るたびに発見があるほど、描き込まれています。「ふゆごもり」と聞くと、さみしげな印象がありますが、この本ではそこが温かく伝わる内容になっています。
ぼくのたからもの	鈴木 まもる／著	夏	お母さんのおなかの赤ちゃんが大きくなっているちょうどその時、家の庭にメジロが巣を作ります。赤ちゃんヒナの誕生、子育てを見守る主人公と家族があたたかい絵で優しく描かれている、愛情いっぱいの絵本です。
ぼくはなきました	くすのきしげのり／さく 石井 聖岳／え	夏	子どもたちのよさを認める、心温まるお話です。
モチモチの木	斎藤 隆介／作 滝平 二郎／絵	いつでも	モチモチの木の絵が綺麗で、楽しいです。昔の言い回しが聞いていて、楽しそうでした。
りゆうがあります	ヨシタケ シンスケ／ 作・絵	いつでも	それぞれいろいろな理由があって、おもしろいです。

【その他】

おすすめの一冊の書名	作者名または画家名	読む時期	おすすめの理由
うどん対ラーメン	田中六大／作	いつでも	そばの登場で個性を尊重し仲直りします。一件落着のお話と思いきや、スパゲッティの登場。軽く笑顔になった絵本です。
おみくじ	きた あいり／作	いつでも	3、4年生ぐらいだと一度はみんな引いているおみくじ。テーマがわかりやすく、実際にそんなことはあり得ないんだけど、くすっと笑ってしまうようなやりとりがおみくじの箱の中で行われていて、読む方も聞く方もわかりやすく楽しい一冊です。
Ketchup on your cornflakes?	by Nick Sharratt	いつでも	簡単な英単語なので、意味も理解しやすく、声に出してやりとりができて楽しめます。
世界一すてきなおくりもの	薫 くみこ／作 えんどうひとみ／絵	冬	サンタさんのことがクローズアップされがちですが、この本は空から降ってくる雪が主人公です。道路に落ちて黒くなってすぐ消えるより、木の上にフワフワで真っ白に降りたいという願いをしに行きます。どこに降ることが出来るでしょう。
なぜなぜはじまるよシリーズ	おおなり 修司／なぜなぜ文 高島 純／絵	秋	静かな視聴もいいのですが、レスポンスが飛び交う時間も大好きです。
ヘルシーせんたい ダイズレンジャー	やぎ たみこ／作	いつでも	ダイズレンジャーが出てきて、大豆嫌いなお殿様をいさめて、大豆好きにするのが面白いです。